

LECTURE

講演会報告



山口監査役はまず、世界で最も活躍しているトヨタ自動車の誕生から現在に至る精神風土・企業理念の変遷について説明されました。続いて、企業として道を誤らないためのトヨタの企業統治(コーポレート・ガバナンス)の仕組みを詳しく説明されるとともに、日米の最近の企業を巡る会社法などの改正の背景について話された後、世界で活動する企業の社会的責任(CSR)についても明快に言及されました。最後に、満員の会場の学生に対してメッセージを贈っていただきました。講演後の質疑応答にもありのままを丁寧に応答され、聴衆は深い感銘を受けました。

ビジネス学部第1回学術講演会
「トヨタの企業経営と
コーポレート・ガバナンス」

トヨタ自動車(株)常勤監査役
山口千秋氏

5/30
長久手キャンパス

本講演会は、IT化が進んだ書店の具体的な経営戦略をお話いただき、図書館の情報へのあり方を考えようというものです。紀伊國屋書店は、BookWebというインターネット書店のサービスを展開しています。在庫を有する書店の運営方針、ユビキタス社会への対応、新書や古書を含めた商品データベースの充実など、具体的なデータとともに紹介していただきました。出版社、他書店も顧客として情報流通を工夫しているなど、参考になるところが多くありました。学部・大学院学生のみならず外部の方の参加もあり、充実した講演会となりました。



文学部図書館情報学科企画
第1回文学部講演会
「インターネット時代の書店の戦略」

(株)紀伊國屋書店ネットビジネス部長
小澤利彦氏

7/4
長久手キャンパス



二井先生には、今年の5月に開設されたばかりの愛知淑徳大学クリニックの現状について説明して頂いた上で、これからの地域の中でのクリニックの位置づけについてお話頂きました。田川先生は、介護老人保健施設の状況についてお話頂き、具体的な事例を交えながら、患者さん一人一人と向き合うこと、そして愛情をこめて付き合うことの大切さを強調されました。また施設の日常生活を描く音楽付きのパワーポイントショーが印象深く、聴講者の注目を引きつけました。今回の学術講演会には142人が参加し、2時間に渡る両先生方の講演を熱心に聴講しました。

医療福祉学部医療貢献学会主催
学術講演会「言語聴覚士の臨床と実際」

愛知淑徳大学クリニック 二井裕子氏
医療法人財団百葉の会介護老人保健施設
ぎきょうの郷(静岡県富士市) 田川円氏

7/8
星が丘キャンパス

秋山先生は「源氏物語」を始めとする平安文学の研究と教育に尽力され、これまでに数多くのすぐれた業績を重ねていらっしゃいます。講演では万葉の時代から現代に及ぶ諸作品を縦横に取り上げては、それらを批判摂取しつつ、農耕生活や四季を伴う風土によって培われた日本人の心性の独特のあり方について、噛んで含めるように丁寧に話し下さいました。明晰なその一言一言は常に含蓄と示唆に富み、意識しないところに根付いている文化の伝統について再認識することができたことも含めて、知的感銘に満たされた豊かな時間となりました。



文学部国文学科企画・国文学会運営
第2回文学部講演会「古典と現代」

東京大学名誉教授
学士院会員・文化功労者
秋山虔氏

7/10
長久手キャンパス



河合先生は、東大出身で東大とケンブリッジ大で博士号を取得、多くの著訳書を出す傍ら、『リチャード三世』の翻案狂言を作成、野村萬斎の来年公演のため稽古に立ち会っておられます。講演では、大学での学問は価値を考えることが重要で、その価値に直結するものとして文学の再評価を確かめてから、ビデオの『まちがいの狂言』を挟んでマザーグースやシェイクスピアの劇と詩を豊かな生きた英語で歌い、朗読、機械的に受取られがちな詩形が人物の微妙な心の動きを解釈するのに不可欠なことを精力的に示され、聴衆に深い感銘を与えました。

文学部英文学科企画運営
第3回文学部講演会
「声に出して読むシェイクスピア」

東京大学助教授
河合祥一郎氏

7/11
長久手キャンパス

去る7月14日と21日の二日にわたり、本年度の表現文化学会学術講演会を実施しました。のべ4名のメディア各界の識者を招いての講演会でしたが、講師は14日が、編集・広告代理店勤務で映画雑誌「C2」を発行されている川本朗(あきら)氏、映画の宣伝プロモーションを名古屋で行っておられる高橋奨(すずむ)氏、そして21日が新進気鋭の地元出版社「クリタ舎」の編集者、栗田礼子氏、そして『1980アイコ十六歳』での鮮烈なデビューでおなじみの作家、堀田あけみ氏でした。14日は、ふだん何気なく新聞や雑誌で見ている映画の宣伝記事がどのようなプロセスで書かれているのか、次々と具体例とともに示され、学生たちも興味しんしんで聞き入っていました。続いて21日は本を出版するまでの苦労と喜び、そして創作活動を長く続けていく心構えが話題となり、本専攻の学生たちには大きな刺激となったことと思います。

文化創造学部表現文化学会学術講演会
「クリエイターへの道」

7月14日 川本朗氏・高橋奨氏
7月21日 栗田礼子氏・堀田あけみ氏

7/14・21
星が丘キャンパス



当日は80名程の主に教職員が参加しました。講演内容は、ハラスメントの定義に始まり、セクシャルハラスメントの本質の理解、キャンパス・セクシャルハラスメントの状況の変化、アカデミック・ハラスメント、さらには最近のキャンパス・ハラスメントの事例の紹介と、盛りだくさんの内容でした。大学に就事する我々個々が、加害者にも被害者にもなりうる可能性を再認識するとともに、法律や社会の変化に従って、ハラスメントに対する考え方が変化していることを学びました。

人権擁護研修会
「ハラスメント防止に向けて」

弁護士・学園理事
池田桂子氏

8/1
長久手キャンパス